

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム 自由の丘	評価実施年月日	H19年 11月1日
評価実施構成員氏名	岡 博		
記録者氏名	岡 博	記録年月日	H19年 10月30日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	これまでの理念を見直して地域の方達と関わり合いながら安心した生活を送ることに重点を置いています。	<input type="checkbox"/>	地域の人たちにお茶会を月に一回開くなど気軽に来ていただき交流を深めていきたいです。
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	月に一回の会議で話をしたり、名札の裏に理念の書いた紙を入れ、常に見るようにしています。	<input type="checkbox"/>	仕事の終わりには理念が反映されたかどうか職員同士話し合うようにしていきたいです。
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らしていることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	面会にこられた家族に理念について説明をしたり、月1回の広報に理念を載せています。	<input type="checkbox"/>	町内会の回覧板などを利用して行事への参加とともに伝えるようにしていきたいです。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	隣近所の方達と散歩時あいさつをしたり、時々立ち話などをしてふれ合っています。	<input type="checkbox"/>	畑の作物が収穫できたら隣近所の方達におすそ分けできるような関係を作りたいです。
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	盆踊りには入居者様とともに参加しています。	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	実習生の受け入れを積極的にしています。	<input type="checkbox"/>	地域の方達に認知症についての相談や研修を開いていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員が自己評価を行えるようにしています。そして、会議で外部評価の結果を話し合っています。</p>	○	入居者さんへ送っている広報にも外部評価についてお知らせするよう取り組んでいきたいです。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>参加者の方からのご意見や質問などはホームでの会議で報告しています。また、ホームで取り組んでいることも報告し、意見をもらうようにしています。</p>	○	これから会議に参加された方々からご意見を頂いてサービスの向上に生かしていきたいです。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>成年後見人制度の研修には必ずし出席し、職員全員に周知しています。</p>	○	まだ活用する入居者さんはいませんが、必要となれば活用したいと思っています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>研修会には参加しています。会議で話して全職員に周知していただくようにしています。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約のときに重要事項説明については丁寧に説明し同意を得、ご家族から質問が出たときには説明するようにしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の会話の中や表情から好き嫌いや思いを知り、職員同士話し合い検討していません。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	広報などでお知らせしています。また、健康状態など知らせる必要がある時は電話で知らせています。	<input type="radio"/>	家族連絡などのファイルを作り電話した場合は記入し、職員全員に周知できるようにしています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見などはすぐ会議などで話し合って改めています。また、ホーム内の掲示板や広報でお知らせしています。	<input type="radio"/>	今年からご家族にアンケートをとりはじめましたが、1年毎ではなく半年毎にとっていき職員の質の向上を目指していきたいです。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回は職員面談などを行っています。また、各業務担当者会議をしてその月の業務内容を確認しています。それとなるべくこちらがわから積極的に話しかけたりしています。	<input type="radio"/>	これからはもっと話をする回数を増やしていきたいと思います。毎日5分くらいは全職員とコミュニケーションをとっていきたいです。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	1F2Fの職員が協力合っています。職員が急病のときなど対応できるよう職員は確保しています。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>事前訪問時にご本人やご家族に必ずGHを見学して頂き生活の様子を説明しています。その時に質問があれば答え、不安を取り除くようにしています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>事前訪問時やそれ以外にもご家族から要望があれば話をする機会を設けじっくり話し合い、ご家族などが不安なことや求めていることを聞き、対応する努力をしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時ご本人やご家族の実情や要望を尊重し、支援しています。また、必要であれば他のサービスも柔軟に活用できるようにしています。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に必ずご本人やご家族にGHを見学して頂き、生活の様子や雰囲気を知っていただきます。また、気軽にご家族に来所していただくことで安心感を持っていただくようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者様は人生の先輩であり、尊敬・敬う心を持つように理念に掲げ、職員全員に共有できるよう努力し、ともに支えあえる関係づくりに留意しています。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族に訪問時や毎月郵送にて入居者さんの毎日の生活の様子を伝え、協力体制を築くよう努めています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族に訪問時や毎月郵送にて入居者さんの毎日の生活の様子を伝えたり、行事にはご家族の参加を呼びかけたりし、信頼関係を築くよう努めています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居者さんが昔から利用している理美容院や病院を利用したり、友人や知人がGHIに訪問しやすい環境づくりに努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	悩み事があれば話を聞いたり、相談に乗ったりして入居者さんが一人で悩まずみんなでも楽しく生活できるよう職員が調整役に努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活に中ででた言動や行動、ご家族にその方の情報を聞き援助に活かしています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	新たに入居される方には居宅のケアマネやご家族からその方の過去の生活歴などを聞き取るようにしています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの一日の生活の様子を記録に書くことによって生活リズムを把握します。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族、ケアスタッフにいけんや思いを聞き、ケアプランに反映しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	設定した期間ごとに介護計画の見直しをし、その期間以外でもご本人の状態に変化が生じた場合にはケアスタッフから情報を聞き、介護計画の見直しをしています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に日々の生活の記録をし、職員全員が確認できるようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	定期往診や必要ならば受信し、健康で安心して暮らせるよう支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域資源との協力体制はあまりとられていません。	<input type="radio"/>	入居者様が馴染みのある地域で安心して暮らしていけるよう地域の民生委員と話をする機会を多く設けていきたいです。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	入居者様の希望に応じ2ヶ月に1回床屋さんが訪問しています。	<input type="radio"/>	他事業所などの風呂を利用させていただき計画を予定しています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターにあまり協力体制はとれていません。	<input type="radio"/>	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加していただき情報・協力を得たいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居前に事前にかかりつけ医の確認をし、本人・家族の意向にもと希望の病院にて適切な医療が受けられるように対応しております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	日常生活に何か変化があった時かかりつけ医に相談して助言をもらい、他の病院受診をしています。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医に連絡してその看護師に助言をもらっています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入退院時には本人の状況を医師に話しています。また、入院時には職員がお見舞いに行ったり、また、家族と話し退院支援をしています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	状態に変化があるごとに医師・看護師などと話し合い家族に伝え、本人の意向もふまえ職員全体で話し合っています。	○	まだしっかりと終末期における対応方針が定められておらず、今後方針を考えていきます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	利用者様の状態が変わるごとにかかりつけの医者に連絡し、その都度チームで連携して支援しています。	○	今後もご本人・ご家族の意向を大切にし、医療機関との連携を図ってまいります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>日中は玄関にはかぎをかけず自由に入出りできるよう支援し見守りしている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>職員一人ひとりがプライバシーや個人情報の徹底を図り、誘導の声かけについても気をつけています。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者さんの言葉や行動を尊重したケアを実践しています。また、意思疎通困難な方は表情やしぐさを読み取り、職員の都合で決定しないよう支援しています。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者さんの生活リズムを大切にし、その日・その時の気持ちを大切にし、入居者さんのペースに合わせた支援を行っています。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>服選びはなるべくご本人で選ぶよう支援しています。理美容院は馴染みの所を希望されたときはその希望に沿うよう心がけています。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>飲み込みの悪い人にはミキサー食を提供するなどその人に見合った食事を提供すよう配慮しています。また、調理や後片付けは入居者さんと一緒に行うよう心がけ、職員と入居者さんが一緒に会話をしながら楽しく食事ができるよう雰囲気作りを大切にしています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	入居者さんの体調に合わせて飲み物・おやつ等の嗜好品を楽しめるよう支援しています。また、たばこについては職員が預かり、ご本人の希望に沿って場所を決めて吸って頂くようにしています。行事などのときはお酒が好きな方にはノンアルコールのお酒を提供しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	尿意がなく失禁がある入居者さんには排泄チェック表を作り、時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄していただくよう支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者さんのその日の希望を確認し、入浴が好きな方には毎日入っていただいたり、長風呂が好きな方にはゆっくり入っていただくなど、なるべくご本人のペースで入っていただくようにしています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	なるべく日中は活動し、夜は眠るという生活リズムを整えるよう努めています。また、体調や表情、希望を考慮し、必要時はゆっくり休息が取れるよう配慮しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	毎日の生活の中で入居者さんに出来ることはしていただき、そして何か役割を持っていただくことで張り合いのある生活を送れるよう支援しています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	行事や買い物などで出かけ、何か物を買うときはなるべく入居者さんにお金を払っていただくことで社会の継続性を保つよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気がよく、暖かい日は外に出たいと希望される入居者さんには日光浴や散歩をし、また、行事や買い物などで外出する機会を作るよう支援しています。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	入居者さんから要望があったときはなるべく希望に沿うようケアスタッフやご家族と相談して支援につなげています。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は事務所においてあり、要望があれば自由に電話をかけられるようにしています。また、ご本人希望あれば手紙は自由に出せて、年賀状は毎年ご本人とご家族にだしています。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間は定めておらず、気軽に訪問しやすい雰囲気作りを心がけています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会や外部研修に行くなど身体拘束をしないケアを勉強し、実践しています		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ケアスタッフの見守りを徹底し、入居者さんのその日の気分の状態を把握することで日中は鍵をかけない努力をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	記録は入居者が普段過ごしている居間で書くようにし、さりげなく全員を把握するよう努めています。夜間は2時間ごとに巡回し、入居者の状態を確認しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者のすべての荷物を管理するのではなく、状況に照らしながら保管管理が必要なもの、そうでないものに分けて管理しています。夜間は包丁やはさみなどの危険な刃物類はは事務所に保管しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ヒヤリハットや事故報告書を記録し、ケアスタッフ全員が見るようにし、今後の事故予防に努めています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防署の協力を得て、救急手当てや蘇生術の研修を実施し、すべての職員が対応できるようにしています。また、救急時のマニュアルを作り周知徹底を図っています。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署の協力を得て、避難訓練・避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練を年に2回行っています。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	入居時にはご家族などに自由な生活の中で起こりうるリスク(転倒など)や病気について説明し、了承をいただいています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタルチェックを行い、体調や些細な表情の変化も見逃さないように取り組んでいます。変化など気づいたことがあればすぐに管理者に報告し、対応に当たっています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬チェック表を作成し、服薬時はご本人に手渡しし、飲み忘れや誤薬がないように努めています。また、薬の処方や用量が変更した時は申し送りノートに記載したり、薬の副作用の書いた一覧表を製作し、全職員が把握できるよう徹底しています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	繊維質の多い食品や牛乳を摂取していただく、体操や家事活動など体を動かす機会を設けて、自然排便できるよう取り組んでいます。また、毎日チェックしており、何日排便されていないか把握しています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の歯磨きの声かけを行い、入居者さんの状況に応じて、介助したり、見守りを行っています。また、毎食後チェックしており、磨き忘れがないように努めております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日食事や水分摂取量をチェック表に記入し、全職員が情報を共有しています。また、食事のメニューは栄養士がカロリー計算しており、バランスのよい食事になるよう支援しています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いを周知徹底しており、ひとつ介助をするたびに手洗いするようにしています。また、入居者さんには毎食時前に両手を消毒し、食器類は高温消毒しています。タオル類やまな板も毎日漂白し、まな板は食材ごとに使い分けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食器類は高温消毒し、タオル類やまな板は漂白するなど、食中毒予防のためマニュアルを用いて消毒チェック表を作成し、毎日衛生管理に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前が広場になっていて畑を作っていたり、玄関前にベンチを置いていたりして、入居者さんや訪問に来た方にもくつろげる場となっております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間や食堂に季節ごとの花を飾ったり、季節ごとの行事や飾り付けをして季節感を感じていただくよう配慮しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関前にベンチを置いたり、居間から少し離れた場所に2、3人がくつろげるようソファを置き、一人で過ごしたり、仲のよい入居者さん同士でくつろげるスペースを作っています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者さんには今まで使用されていた馴染みのあるものや好みのものなどを持ち込んで、入居者さんが安心して生活することができるよう配慮しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	日中は各部屋に乾湿計を置き一定の時間帯に換気をしています。また、においのする箇所(トイレ・玄関・台所など)の場所にはこまめに換気をしたり、芳香剤を置いたりしてにおいには気をつけています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。</p>	<p>廊下やお風呂場、トイレには手すりがついていて、段差もなく、車椅子の方や歩行状態がよくない方でも建物内を自由に移動できるような作りになっています。</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>入居者さんの要望に沿い混乱を招かないような環境整備を心がけています。状況が変わり、新たに混乱が生じたときは職員で話し合い、すぐに対応できるよう努めています。</p>		
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>前庭には畑やベンチ、裏庭には花畑があり、入居者さんが畑作りや日光浴を楽しめることができるような環境づくりをしています。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p>	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p>	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p>	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p>	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)